

戦跡紹介

わたなべのつな こま くす
渡辺綱 駒つなぎの樟 大阪市都島区善源寺1-11



よりみつ みなもと
 平安時代中期の武将、渡辺綱（源頼光の四天王の筆頭）は、この木に馬をつなぎ、隣接する神社に詣でたと伝えられています。1938（昭和13）年には、大阪府指定文化財として第一号の天然記念物に指定されました。

1945（昭和20）年6月7日、この一帯は昼間の空襲により焼け野原となり、この樟も焼けて枯死状態になりましたが、現在も太い幹が残されています。参考資料：『都島区史』財団法人大阪都市協会 編集

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、平和の首都”大阪の実現をめざす『ピースおおさか友の会』会員を募集しています。

会員特典	1年間無料で入館できます。常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。		
会費	個人会員 年会費2千円	団体会員 年会費1万円（1口）	※何口でも結構です。
申込方法	・直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ・銀行振込（りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行） ・郵便局振込		

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられた
ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 「刻の庭」の銘板の中にある母と弟の名前を指でなぞり、二人の冥福を念じました。小生「古希」を健康で迎えたことに感謝して、お参りをさせていただきました。また、母子像を見て、あのような姿で息を引き取ったと思いました。この処がつくられて感謝しています。

鳥取県西伯郡（70歳）

- 社会科で日本の歴史を学んでいるけれども、それ以外にも多くのことがわかったし、戦争はとてもこわいものと改めて実感しました。

大阪府和泉市（11歳）

- 終戦の年、小学校6年生で引き揚げてきました。外地にいましたから、空襲のことを深く知りませんので、今日、写真や解説などを見て引き揚げの時の苦労など比較にならないことを痛感しました。大阪市（73歳）

- 展示を通して日本が復興しているのを知り、驚きました。一生懸命働けば必ず報われるのですね。（原文は英語）

インド（45歳）

- 戦争中を描いた特別展の絵画がどれもすばらしく、心を動かされました。（原文は英語）

メキシコ（24歳）

- 私の国は戦争の犠牲となった所ですから、日本から見た戦争の視点を学び興味深く思いました。（原文は英語）

インドネシア（21歳）

- ベトナム戦争や朝鮮戦争の描き方が十分でないように思います。（原文は英語）

韓国（29歳）

■ホームページをリニューアルしました。

ピースおおさかのインターネットホームページを4月からリニューアルし、情報満載で見やすくなりました。 <http://www.peace-osaka.or.jp>

寄贈品紹介

●絵はがき「陸軍大演習の実況」

寄贈者の祖父が収集した資料のひとつ。1927（昭和2）年11月に名古屋で行われた陸軍大演習を記念した絵はがきで、初期の戦車や高射砲などが写真に写っています。

欧州戦線の教訓を得て、日本陸軍が1919（大正8）年に技術本部を立ち上げるなど、急務として取組んだ“軍機械化”の一端が垣間見られます。



坂口 隆治氏 寄贈
（サイズ：90×140mm）

ピースおおさか
ミュージアムショップ

オリジナルグッズの紹介

常設展示を解説した「展示のてびき」やブックレット「大阪にも空爆があった」などの資料や来館記念・お土産として「缶バッジ」「キーホルダー」「Tシャツ」「ランチクロス」など、オリジナルグッズを販売しています。



資料寄贈者 2006.9.1～2007.3.31（敬称略）

団体

尼崎市立地域研究史料館	原爆文学研究会
江戸東京博物館	シベリアを語る会
大阪市史編纂所	豊橋空襲を語りつくす会
大阪市史料調査会	非核の政府を求める大阪の会
大阪市立住吉図書館	広島大学平和科学センター
株式会社乃村工芸社	淀川国民学校昭和19年度同窓会
株式会社文殊社	ワンダーアイズプロジェクト
樹花舎	

個人

安芸真美	岡崎悦明	河野英通	中道信子	八木邦子
足立恵美子	尾嶋清篤	小山仁示	西村明穂	八木田さと子
伊賀孝子	嘉指恵子	坂口隆治	平川秋義	山上隆三
大鳥昇一	楠本喜義	橘 隆	藤井正伸	

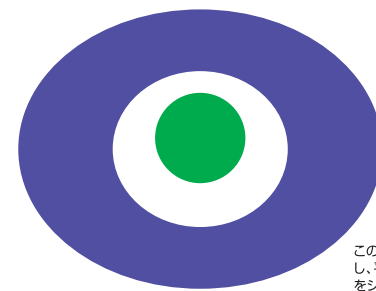
資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料及び資料に関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていくため大切に保存しています。この意義をご理解いただき、資料収集にご協力くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先●

ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
 TEL.06-6947-7208
 FAX.06-6943-6080



ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2007 4/10
(平成19) No.37

編集・発行／財団法人 大阪国際平和センター
 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
 TEL.06 (6947) 7208 FAX.06 (6943) 6080
 ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>

このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

展示事業 特別展

「アフリカに生きる子どもたち
～奴隷・兵士・エイズ・貧困そして未来～」

©Fatumo Ibrahim Adan/
WONDER EYES PROJECT



© Abdirahman Mohamed Bare+Abas Aden Seikh
+Shukri Abdirahman / WONDER EYES PROJECT

期 間：9月22日（金）～11月12日（日）（計52日間）

協 力：ユニセフ、UNHCR、永武ひかる、高橋邦典、
池田香代子＋マガジンハウス

参加者：17,261名

きびしい状況の中で、より良い未来を目指して新たな模索をはじめているアフリカの人たちは、何をしようとしているのでしょうか。日本にいる私たちは、「何をしてはいけなくて」、「何をしたらいい」のでしょうか。アフリカの国々について考える機会として、ユニセフ・UNHCRなどの写真パネル160点を展示しました。

■開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
 ■休 館 日 月曜日・祝日の翌日・年末・年始・月末

■入 館 料 大人250円、高校生150円（中学生以下、65歳以上及び障害者の方は無料）
 ■交 通 JR環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車西へ約400m

展示事業

特別展

「地球の上に生きる2006 —DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展—」

期 間：11月21日^火～12月24日^日
(計34日間)

協 力：(株)デイズジャパン

参加者：10,759名

地球上では、今この瞬間にも戦争・紛争、貧困、飢餓、災害、民族や人種などへの差別で多くの命が失われ、また傷ついています。私たちは、その現実から目を逸らしてはなりません。この写真展を通して、生きる喜びを互いに認め、命の尊さを改めて確認するとともに、平和の大切さについて考える機会として開催しました。



特別展「戦争体験画展 —兵士が見た太平洋戦争、少年が見た大阪大空襲—」



期 間：1月13日^土～4月10日^火(計71日間)

参加者：13,293名

戦争体験を描いた絵画は、それ自体が貴重な歴史の証言となり、私たちに強く訴えかけます。南方戦線と大阪大空襲、大田健一(故人)さん、水速信孝さん、平岡潤さんの3人の画家が描いた「戦争の現実」を体験画などを通して追体験し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として開催しました。

講堂パネル展示

「核軍縮」
10月～11月

「拉致問題啓発週間」
12月

「学校へ行こう」
1月

「ワンダーアイズプロジェクト」
2月～

ピースおおさか2006(平成18)年度後半の事業報告

10月より3月までの主な事業の様子を報告します。

12・8開戦の日平和記念事業

「美しい夏キリシマ」～非戦への思い、黒木和雄監督作品～

映画会 日 時：12月3日^日 午後2時～4時

参加者：245名

この映画は、黒木和雄監督が学徒動員された宮崎県霧島での体験をもとに制作されたもの。主人公の康夫と当時の自分を重ね合わせながら、日本人一人ひとりがどのような生き方をし、どのような精神状態にあったのかを問うことにより、それが今の私たちにどのように繋がっているのか、いないのかを考えさせる映画。

8・13大阪大空襲平和記念事業

「孫たちへの証言」～戦争体験をどう伝え、どう受け継ぐか～

講 師：福山琢磨
(「孫たちへの証言」編集出版者)

日 時：3月10日^土
午後2時～4時

参加者：202名



21世紀の平和を考えるセミナー

《第23回》「子どもたちのアフリカ」
～く忘れられた大陸>に希望の架け橋を～



講 師：石 弘之(北海道大学公共政策大学院教授)
日 時：11月12日^日 午後2時～4時
参加者：95名

《第24回》「GHADA(ガーダ)～パレスチナの詩」^{うた}

映画会 日 時：1月28日^日 午後2時～4時
参加者：150名

古い慣習に挑み、平和を求め、祖母たちの生きた歳月に関心を深めるガーダという一人の若い女性の姿を通じて、パレスチナの暮らしや難民キャンプでの生活、さらにはパレスチナの人たちが現在の状況に追い込まれた経緯などを描く、ドキュメンタリー映画。

《第25回》
「世界の子どもたちが写した“撮っておき”、大切な一瞬。～ワンダーアイズプロジェクト～」

講 師：永武ひかる(写真家)

日 時：2月24日^土 午後2時～4時
参加者：60名



ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

企画事業

ピースフルコンサート2006

「音楽は国境をこえて～華麗なるプラスの響き～」

演 奏：大阪市音楽団
金管アンサンブル

日 時：10月7日^土
午後2時～4時

参加者：241名



核軍縮フォーラム

「核兵器は戦争を防止するか？」



講 師：山田康博
(大阪外国語大学外国語学部助教授)

日 時：10月29日^日
午後2時～4時

参加者：48名

フィールドワーク

「ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの昔を訪ねて
～「西六社」界隈を歩く～」

日 時：3月18日^日
午前9時30分～12時
参加者：40名



現在のユニバーサル・スタジオ・ジャパン及びその周辺は、大阪を代表する工場が集中し戦時中は、多くの人々が動員されました。この地域は、1945(昭和20)年のたび重なる空襲により、工場や民家は大きな打撃を受けました。空襲で被災した地域を歩き、戦時中の様子や戦争による被害を知るとともに、平和の尊さについて考える機会となりました。

映画鑑賞会

「冬休み親子で見る映画祭」

—戦争ってなあに?in森之宮— 参加者：91名

12月22日 ^金	火の雨がふる
23日 ^土	カープ誕生物語 かつとばせ!ドリーマーズ
24日 ^日	ライアンツリーのうた

「名画劇場」 参加者：186名

1月20日 ^土	襦袢の旗(らんるのはた)
21日 ^日	樺太 1945年夏 氷雪の門